

marina park city



西宮浜義務教育学校 校長・教頭赴任のお知らせ

今年度、新たに杉田二郎校長と酒向祐介教頭が赴任しました。前年度までお世話になった清水孝茂校長は退職、仁木雄次郎教頭は転任。義務教育学校の教頭は3人体制なので、吉永真由美教頭と豊田三奈教頭は引き続き在任です。新しい管理職の先生のメッセージを紹介します。



杉田二郎校長

職歴

- ・西宮浜小学校 教員 1年
- ・教育委員会 事務局 7年
- ・東山台小学校 校長 3年
- ・小松小学校 校長 2年
- ・教育委員会学校教育部長 2年

初めまして。教育委員会から着任した杉田二郎と申します。15年前に西宮浜小学校に1年間勤務させていただきました。このたびの着任にご縁を感じています。懐かしい校舎、桜並木、広がる海を改めて見ながら2週間がたちました。

本校の特色である、1年生から9年生の子どもたちの成長を見守る責任の重さと、うれしさを感じています。職員の異動もあり、新たな体制で令和6年度をスタートさせました。

子どもたちを中心に、保護者や地域、学校職員が連携して子どもの育ちを促すことができるような学校でありたいと考えています。

本校の校訓「自主」「協働」「創造」は、校歌にも歌われています。それぞれの発達段階に応じてその実現を図っていきます。ご理解、ご協力をお願いします。



酒向祐介教頭

職歴

- ・平木中学校 教員 2年
- ・今津中学校 教員 6年
- ・甲武中学校 教員 8年
- ・学文中学校 教員 6年
- ・教育委員会事務局 2年

この度、教頭として異動してきました酒向祐介です。西宮浜義務教育学校へ来て、最初に好きになったのは校歌です。先日、3年生が音楽の授業を終えて自分の教室に帰る道すがら、鼻歌交じりに校歌を歌っていました。「未来を拓く～西宮浜～」。つつい私も一緒に歌いました。歌詞の中には「～合う」と「培う」というフレーズが3回ずつ出てきます。学び合い、認め合い、磨き合うことで、未来を切り拓く力を培ってほしいとの願いが込められています。「培う」という言葉には「時間をかけて育てる」という意味があるそうです。

義務教育学校でしか過ごすことのできない9年間は「笑いあり」「涙あり」のかけがえない時間になると思います。そんな時間を通じて、子どもたちにはじっくりと未来を切り拓く力をつけてほしいです。そのために精いっぱいがんばっていきます。

ラジオ体操のお知らせ



さあ夏休み♪ ラジオ体操で元気にスタートしよう!

今年は7月21日～27日の朝6時半から、義務教育学校東校舎運動場で行う予定です（※あらためて、各まちの掲示板にてお知らせします）。

昨年は、延べ約430人が参加しました。西宮浜在住であれば誰でも参加できます。生活リズムを整え、暑さに負けない体づくりのために、皆さんそろってラジオ体操に参加してください!

西宮浜地区青少年愛護協議会



[アーカイブ] 夏まつり 2023

開催場所の検討と調整、備品の手配、盆踊りの選曲や練習、チラシ作成やボランティアスタッフのお願いなど、去年は初めての開催で試行錯誤の連続でした。神戸女学院大学や西宮香風高校のサポートも受け、みんなでワイワイ、ガヤガヤ。来場者数約400人！ けがや事故もなく、無事、開催できました。

手作りのすてきな案内看板
西宮浜のママさんたちの作品



やぐらは牛乳パックで作成。自宅である程度組み立てて、前日に組み上げました



太鼓、垂れ幕、ちょうちんは特別養護老人ホーム西宮恵泉に借りました。感謝感謝です



フルーツも準備万端。アツアツでうまい！

水でびしょびしょになりながら作ったヨーヨー。最後は握力がなくなりました…



浴衣の子どもには無料券をプレゼント。喜ぶ子どもたちの姿に、前日の苦労も報われました

盆踊りの曲目は『ソーラン節』『炭坑節』『河内音頭』『東京音頭』『きよしのズンドコ節』『みやたん音頭』の6曲。当日までに練習会を数回開催し、何とか振り付けを覚えしました

盆踊りの合間のステージタイム。マリーナポエポエのフラダンス



アリーナ前の広場も大にぎわい

ビールと相性抜群のタコせん！



輪投げなど、小さな子ども向けのゲームも盛況



西宮浜観光社、神戸女学院大学の皆さんで、まちづくりアンケートも実施



カラフルな綿菓子は、アツという間にソールドアウト

編集後記

夏まつり特集はいかがでしたでしょうか？ メンバー全員で着々と準備を進めています。スタッフとして参加すると、近所付き合いのきっかけにもなります。できる範囲でお手伝いいただけると嬉しいです。皆さんの思い出に残り、長く引き継がれる、夏まつり、盆踊りを目指しています。

夏まつり2024特集

昨年、「夏まつり2023～みんなで踊ろう盆踊り」として、西宮マリナパークシティ全体の夏まつりを開催。皆さんから「楽しかった」「来年も開催してほしい」などのコメントがありました。今年も、夏の思い出になるような夏まつりを開催します！！



夏まつり2024に向けて準備を始めています。

昨年開催した初めての夏まつりでは、たくさんの皆さんのご協力の下、にぎやかに開催することができ、感謝しております。ありがとうございました！今年1月に「夏まつり2024実行委員会」を立ち上げ、2カ月に1度の頻度で打ち合わせを行っています。昨年度の経験を生かして、より盛り上がる夏まつりに向けて、準備を進めています。

西宮浜マリナコミュニティでは、地域の皆さんへ情報発信やイベントの企画などを通して、西宮浜を盛り上げたいとの思いで活動しています。

(夏まつり2024実行委員長 高橋美代子)



実行委員会のメンバー。西宮浜マリナコミュニティ、コープマリナパーク、西宮香風高校ボランティア部の皆さんと西宮市教育委員会の足立年樹さん

夏まつり2024開催概要

- 目的：**なれ親しんだ西宮浜で老若男女が、盆踊り、ゲーム、飲食をともにしながら楽しむ
- 主催：**西宮浜マリナコミュニティ
- 開催日時：**2024年8月25日(日)13時～16時
- 開催場所：**杜のまち アリーナ～アリーナ棟前の広場



盆踊りの曲目

7月から踊りの練習を始めるので、ふるってご参加ください。別途、掲示板などでお知らせします。

東京音頭

作詞・西條八十、作曲・中山晋平。盆踊りの定番曲として親しまれ、また東京ヤクルトスワローズやFC東京の応援歌として使われていることでも知られています。

炭坑節

福岡県に伝わる民謡。もともとは炭鉱労働者によって唄われた民謡『伊田場打撰炭節』が原曲で、「月が出た出た月が出た、ヨイヨイ」の一節で知られています。

ドラえもん音頭

作詞・藤子不二雄、作曲・菊池俊輔。1979年8月発売の『大山のぶ代のおろぎ'73』の両A面シングル(EP)『ドラえもん音頭/ぼくドラえもん』に収録、発売されました。

サポーター、出店・出演者募集中！ みんなでつくる、夏まつり

盆踊り休憩時間のサポートスタッフとしての参加も大歓迎です。またハンドメイド雑貨などの販売やステージタイムで楽器演奏やダンスなど、いろいろな楽しみ方ができるイベントにしたいと考えています。

右の囲みの内容に興味がある人は、下記まで連絡をお待ちしています！

西宮浜マリナコミュニティ 夏まつり2024実行委員会

メールアドレス miyakkohama@yahoo.co.jp

※知って、学んで、参加する企画や『宮っ子』の取材や編集と一緒に活動できる人も募集中。興味がある人は、ぜひご連絡ください。



- 設営サポート (準備・片付け)
- 屋台サポート
- 盆踊りサポート
- 各種出店 (手作り雑貨、飲食など)
- ステージタイム出演者 (ダンス、楽器演奏など)

応募者多数の場合、希望に沿えないこともあります。

西宮浜のひとつと(23)



虎谷 多恵さん
学校法人阪急学園
認定こども園
いるか幼稚園教諭

成長の瞬間に立ち会える喜び

いるか幼稚園の卒園生で現在、教諭の虎谷多恵さんにお話を聞きました。

★幼稚園時代の思い出は？

お泊り保育でご飯を食べるのが遅く不安になっていた時、最後まで先生と一緒にいてくれて心強かったことを覚えています。

★今の職業を目指したきっかけは？

高校在学中の職業インタビューでいるか幼稚園に戻ってきた時、園児時代にお世話になった先生から当時の話を聞かせてもらったことです。

先生の言葉に感動し、毎日楽しく過ごせたのは先生方のおかげだったと感謝の気持ちが湧いてきました。そして、

自分も幼稚園の先生になりました。いと考えるようになりました。

★仕事のやりがいは？

子どもたちの成長を近くで感じられることや、できることが増える喜びの瞬間に立ち会えることです。

一人一人違う園児に合った関わり方を探ることに、大きなやりがいを感じています。★大事にしていることは？

子どもたちの良いところを見つけ、自信を持ってもらえるよう接しています。子どもたちは先生をよく見ているので、自分自身に余裕がないときも子どもたちに不安を与えないよう心掛けています。

★子どもたちへメッセージ

そのままでもいい。みんなにはそれぞれいいところがあるので自信を持ってほしい。そして、これからも幼稚園を楽しんでほしいです。

【編集後記】

幼少期の原体験が人生に大きく影響することを強く感じました。同時に社会人として、親として、地域と連携しながら子どもたちに良い影響を与えられるよう努めたいです。(取材：港のまち 五味岡龍)

西宮市100周年記念ツレイベント、西宮浜総合公園で開催

「たのしみや にしのみや フェスティバル」が4月6日に開催されました。「スポーツ・食・環境」をテーマにしたイベントで、ステージパフォーマンスやスポーツイベント、キッチンカーやポップアップストアが登場しました。

西宮浜観光社も「桜のスマホ写真展」を開催し、西宮浜の住民が撮影した美しい桜並木の写真を公園センターに展示しました。また、西宮浜在住のバリスタ4人によるコーヒーチーム「Orpin」も出店。来場者はひき立てコーヒーを味わっていました。

当日はさまざまな体験ができ、訪れた皆さんはそれぞれの場所で楽しんでいました。



アイスコーヒーください

アートフリーマーケット 第8回西宮浜さくら祭

満開のサクラを求めて、4月7日は大勢の来場者でにぎわいました。ステージイベント、飲食ブースやキッチンカーなど、来場者はそれぞれの場所で楽しんでいました。

杜のまちと桜のまちの南側の道は「アートストリート」という名称が付けられており、北側歩道は一般的な歩道の2倍の幅があります。ここは西宮浜の住民同士の交流と、西宮浜の住民と浜以外に住む人々との交流を願い、アートフリーマーケットを開催する場所として設計されました。

このコンセプトを住民が知ることなく、街開き以来26年の時を経て、初めてアートフリーマーケットが開催されました。



アートフリーマーケットを楽しむ皆さん

はまCafe マリナふらっと 公民館でうたごえ喫茶を開催

「第2回うたごえ喫茶」が4月30日に行われました。昨年12月の第1回が好評で、開演10分前にはすでにたくさんの方で、40人の参加者の半数は前回に続いての参加でした。

指導はNPO法人すくすくあいねの青木好美代表。ピアノ演奏とともにすきな歌声で私たちを導いてくれました。昭和の懐かしい曲に合わせ手拍子したり、小物を使って遊びながらの1時間半。部屋中に明るい歌声と笑顔があふれていました。「高い声の素晴らしさに加え、ユーモアたっぷりジョーク交じりの解説もあり、音楽の世界の幅広さに感銘を受けた」と参加者からのコメントもありました。



歌声高らかに